

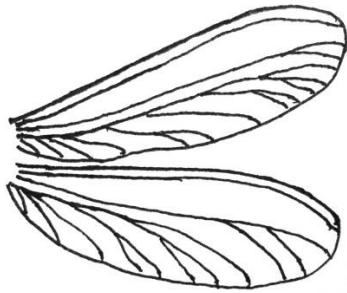
No. 422

はあり
羽蟻が出た！ シロアリ？

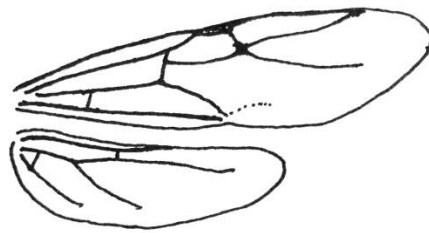
5月の声を聞くと、毎年寄せられる質問があります。「羽蟻が見つかったのですが、これはシロアリなのでしょうか？」

この時期ですと、たいていの場合は、「シロアリ」の羽蟻です。質問された方は、急いでシロアリの発生場所を探すことになります。家がかじられている可能性もありますから。

しかし、羽蟻、即シロアリとは限りません。庭を歩きまわっている普通の「アリ」も羽蟻を出します。アリの種類によって羽蟻の出る時期が違いますが、5・6月ですと、クロオオアリなどの羽蟻も出る季節なので、一応確認が必要です。



シロアリのはね



アリのはね

ハネの形を見ると、「シロアリ」なのか「アリ」なのか確実に判定できます。前バネと後バネの形が同じならシロアリの羽蟻です。早速、どこから飛び出してきたのか探しましょう。もし、家の床下などから出てくるようなら要注意、しっかりとシロアリの巣くう場所を探しましょう。前バネと後バネが違う形ならアリの仲間です。心配は要りません。

シロアリはアリと名が付いていますが、アリの仲間ではありません。アリはハチと同じ仲間（膜翅目もしくはハチ目と呼ばれる。）で、昆虫の中では進化したグループですが、シロアリ（等翅目もしくはシロアリ目と呼ばれる。）は、昆虫の中では古いタイプのグループでゴキブリに近い仲間です。アリは雑食性ですが、シロアリは植物体のセルロースをエサとしています。

セルロースは通常の動物では分解出来ず栄養にはならないのですが、シロアリは共生する微生物と共同して分解し栄養としています。

日本には20種程度のシロアリ類がありますが、多くは沖縄にすんでいて、富山県では通常みられるのは「ヤマトシロアリ」で、5・6月に羽蟻を出します。（アメリカカンザイシロアリという外国から侵入したシロアリが発見されたことがあります。）

シロアリというと、家屋の被害をまず考え、害虫なのでいない方が良くと考えがちですが、シロアリは家だけを食べているわけではありません。むしろ、森林等自然の中で枯れ木、倒木、切り株など食べるのが本来の生き方で、枯れた植物を分解する働きをし、自然界の物質の循環にとっても大事な仕事をしているのです。

（根来 尚）



倒木中のヤマトシロアリ